

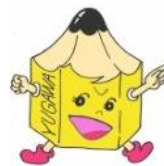


生徒ひとりひとりが、学校生活を明るく楽しく過ごせるよう、
互いを尊重し合い、自主的に行動できるようになろう。

【1日の生活のきまり】

① 登校・下校・外出について

- 8時25分までに教室に入り、30分から朝自習ができるようにしましょう。そのために門を8時20分までに通れるように、余裕をもって家を出ましょう。
- 登校後は無断で校外に出るはいけません。
- 帰りの学活が終わったら、速やかに下校します。登下校の際は、安全に気を付けましょう。
- 当日の欠席・遅刻・早退などの連絡は、保護者が学校にWEB連絡や電話連絡を行います。
- 自転車通学はできません。また、登下校時は、寄り道や買い食いをしてはいけません。
- 8時30分を過ぎて登校した時は、教室に行く前に必ず職員室に申し出ます。



② 授業について

- チャイム席を守り、時間の管理を自分で行います。特に移動教室の時は気を付けましょう。
- 話し合い活動等で机の移動が必要な場合に備え、自分の荷物は整理整頓しておきましょう。
- 湯川中 共に高める三ヶ条「聞く態度・教える姿勢・自分から」が実現できるよう、みんなで意識して声を掛け合いましょう。

③ 所持品について

- 貴重品は、朝自習開始前（～8:25）までに担任に預けてください。
- 学習に必要なもの（スマートフォン、携帯電話、タブレットなどの通信機器、ゲーム機、マンガ・雑誌、カードゲーム、お菓子類、不要な金銭）、他人にけがを負わせる危険性のあるもの（刃物類等）は、学校に持ってきてはいけません。
- 生徒間の金銭の貸し借り、物品の交換・売買をしてはいけません。
- 学校の個人タブレットは、学習に必要な場合、ルールを守り、休み時間でも使用できます。

④ 公共物について

- 学校の施設設備、教具などを破損したときは、すぐに担任に連絡しましょう。



【服装・頭髪についてのきまり】

① 頭髪について

- 頭髪は、脱色、染色、パーマ、整髪料の使用は避けましょう。
- 髪型は、周囲に不快感を与えないような清潔感のある髪型にします。極端に短い（長い）部分があるなど、奇抜な髪型は避けましょう。
- 短髪の場合、前髪は目に、後ろ髪は、えりにかからないようにしましょう。
- 長髪の場合、前髪が目にかかる時はヘアピン（黒色等）等で留めます。後ろ髪は肩にかからないようにし、かかる場合は、黒色等のゴムで結びます。

② 服装について

- 学校指定の標準服、または北九州スタンダードを着用します。（混合はできません）
- 夏服や冬服への移行、防寒具の着用の時期等については、傾合いを見て各自で判断し、暑さや寒さに応じて着用します。
- ※ 「防寒具」は、防寒着（市販のジャンパーなど）、マフラー、ネックウォーマー、手袋、ベスト、セーター、カーディガン、タイツ、ストッキングなどです。（防寒着、ネックウォーマー、マフラー、手袋は校舎内では着用しません。）
- ※ 防寒着のジャンパーは各自の教室の椅子に掛けて保管するので、丈が長すぎたり、フードが大きすぎたりするものなどは避けましょう。
- ※ ベスト、セーター、カーディガンなどは、制服の襟下の校章が見えるものにしましょう。（紺色、黒色等のVネックがよいです。）また、ブレザーの袖（そで）からはみ出過ぎない着こなしをしましょう。
- 校内では名札を着用します。（校外では防犯上、外します。）忘れた際は、テープ等で名札の代わりに作ります。ブレザーを脱ぐ際は、名札をシャツ（ブラウス）に付け替えましょう。
- アンダーウェアは、黒、白、紺、灰色等の無地を着用します。（体操服可、ワンポイント可）（ワンポイントの大きさは、夏体操服のマークのサイズを目安にすると良いでしょう）
- 靴下は無地でワンポイントの黒、白、紺、灰色等とします。くるぶしが見える物でもよいでしょう。甲の部分に大きな柄が入った靴下・ライン入りの靴下・ルーズソックス等は避けましょう。
- 靴は、運動に適したひも靴とします。
- ※ ハイカット・ミドルカット・厚底ブーツは避けること。
- 上履きは、学校指定のものとし、校内では、上下足の区別をつけてください。
- ベルトは、黒色・紺色の無地で、革や布素材のものを着用します。
- ※ 2穴ベルトや装飾品が付いているもの、派手なものは避けましょう。
- 清潔な身なりを心がけ、爪は常に短く切ってください。眉は、切ったり剃ったりして、極端に小さくしないようにしましょう。
- スカート丈は、膝がかくれる程度の長さを目安にしましょう。
- ピアスやネックレス、ブレスレット、ミサンガ等の装飾品は付けないようにしましょう。
- バッグは、学校指定（スリーウェイバッグ・サブバッグ）のものとし、指定のバッグに荷物が入らないときは、その他のバッグでもよいです。
- ※ 通学用バッグやサブバッグ、部活バッグにつけるキーホルダーは、見分けをつけやすくするためという目的で1つまでは付けてよいです。ただし、極端に大きいものなどは避けましょう。

※ 本校では、生徒会を中心とした「校則検討委員会」を立ち上げ、校則の見直しに取り組んでいます。

